

平成30年度

下関市まちづくり協議会 活動事例集



下関市

はじめに

下関市では、平成27年1月に「下関市住民自治によるまちづくりの推進に関する条例」が施行され、本市が進める地域内分権の一つである「住民自治によるまちづくり」について明らかにするとともに、各地区のまちづくり協議会の設立をはじめ、市民と地域と行政が互いの役割と立場を尊重するまちづくりを推進してまいりました。

平成28年度には、市内全17地区でまちづくり協議会が設立され、現在、各地区において、地域の力を生かし、身近な地域課題の解決や地域活性化に向けた取組が進められています。

この事例集では、平成30年度に、市内17地区まちづくり協議会で実施された活動の一部を紹介しています。本市の特色ある活動を市民の皆様や市外、県外に向けて発信するとともに、各地区まちづくり協議会が情報を共有し、新しい事業に取り組むきっかけや、既存事業の充実を図るための参考としてご活用いただければ幸いです。

目次

1.中東地区まちづくり協議会	1
事例 1 北浦街道のまち興し事業	
事例 2 耳なし芳一のおはなし	
2.西部地区まちづくり協議会	3
事例 1 オレンジカフェ「つづみ」 卓球バレー	
事例 2 防災教室	
3.向洋地区まちづくり協議会	5
事例 1 文化の継承 「門松作成」	
事例 2 地域児童との交流会	
4.山の田地区まちづくり協議会	7
事例 四季折々の花が咲き、蝶々が乱れ飛ぶ、美しいまちづくり事業	
5.彦島地区まちづくり協議会	9
事例 1 多世代交流事業「彦まちカフェ」	
事例 2 彦島文化再確認事業	
6.長府地区まちづくり協議会	11
事例 1 三軒屋海岸・御船手海岸清掃	
事例 2 長府の寺子屋「カジュアルセミナー」	
事例 3 健康講座	
7.長府東部地区まちづくり協議会	13
事例 1 認知症にやさしいまちづくり	
事例 2 災害に強いまちづくり	
事例 3 まちづくり計画の策定	

8. 東部5地区まちづくり協議会	15
事例 1 子どものための防災教室	
事例 2 花いっぱい運動	
事例 3 防災訓練～小月地区	
9. 勝山地区まちづくり協議会	17
事例 1 勝山歴史事業及び昔話絵本の制作・配布	
事例 2 健康フェスタ開催	
10. 内日地区まちづくり協議会	19
事例 1 内日のみんなで手づくり『ペットボトルツリー』	
事例 2 内日小・中合同大運動会への地域参加	
事例 3 振り込め詐欺被害防止の寸劇上演	
11. 川中地区まちづくり協議会	21
事例 1 川まち弥生まつり	
事例 2 子ども体験フェア	
事例 3 非常時炊き出し研修	
12. 安岡地区まちづくり協議会	23
事例 1 ほたる授業	
事例 2 ヤスオカマルシェ『カオスやストリート』	
13. 吉見地区まちづくり協議会	25
事例 1 吉見“あじさい”パーク計画	
事例 2 本州最西端「毘沙ノ鼻」プロモーション	
事例 3 蓋井島 島内整備事業	
14. 菊川地区まちづくり協議会	27
事例 1 キッズフェスタ2019	
事例 2 きくがわ「地域と学校をつなぐ安心安全プロジェクト」	

15. 豊田地区まちづくり協議会	29
事例 1 「メモリアル長門ポッポ100」旧長門鉄道開業100周年記念事業	
事例 2 花いっぱい運動の充実	
16. 豊浦地区まちづくり協議会	31
事例 1 ポッチャ大会	
事例 2 知っちょる会 in 中学校	
事例 3 医療福祉講演会「知っておきたいエンディングノート」	
17. 豊北地区まちづくり協議会	33
事例 デート in 角島	

【下関市まちづくり協議会】



中東地区まちづくり協議会

ホームページ <https://www.machidukuri-cyutou.com/>

メールアドレス cyuutouchiku.machidukuriky@orchid.plala.or.jp

【協議会 概要】

設立年月日 平成 27 年 10 月 6 日

事務所 〒750-0005 下関市唐戸町4番1号 カラトピア

☎/📠 : 083-250-8380

地域の状況 (人口) 23,142 人 (世帯数) 12,573 世帯

(中学校区) 日新中学校・名陵中学校 (面積) 7.77 k² (H30.10.1 現在)

設置部会 総務部会、環境・防災対策部会、地域づくり部会

健康・福祉部会、子育て・青少年育成部会

活動の概要 ・ 広報紙の発行 ・ ホームページの維持管理 ・ 図上訓練の実施

・ 防火防災教室 ・ サロンの開催 ・ 困りごとお助け隊の普及

・ 子育て活性化行事 ・ 遊休農地活用事業 ・ 北浦街道のまち興し事業 ほか

事例No.1 : 北浦街道のまち興し事業

活動のきっかけ

中東地区東部の貴船町赤岸通りの街並みが往時の風情が温存されているということで、平成 28 年度第 7 回下関市景観賞街並み部門で表彰されたことをきっかけに「まち興し」議論を開始しました。

平成 30 年度下関市公募の「地域力アップ事業(インセンティブ)」に、まち興し範囲を拡大し「地域資源活用事業・広域交流事業」「赤岸通りを含む北浦街道のまち興し」として応募、認定されスタートしました。

活動の内容

安富先生の講話(北浦街道あれこれ)
落葉清掃活動(2回)
ペットボトルツリーで街を華やかに
奥小路公園周辺の夜桜ライトアップ
奥小路公園内でプチイベント
(ミニコンサート・フィールドヨガ・
お宝クイズ大会・竹灯籠飾り など)
「街道にゆるす」2回発行



テーマ

「もっと知ろう・伝えよう・つながろう」

活動の成果

- ― 広域での地域力アップ、地域資源発掘につながる意義ある事業となりました。
地域内の人材発掘につながりました。
地域住民のつながりだけでなく、大学・幼稚園・福祉事業者との横のつながりが広がりました。
- ― 色々な分野とのアプローチにより新情報、更なる資源発掘、街の課題発見につながりました。

今後の展開

- ― 事業を継続しつつ、平成30年度に実現できなかった事業(まち歩き & お宝探し・花いっぱい活動他)を推進します。
横のつながりの拡大と公募・口コミによる人材の拡充を進めます。
街の課題の整理と将来の方向性について、しっかりと検討していきたいと思えます。

事例No.2 : 耳なし芳一のおはなし



まちづくり
のヒント

子どもと大人が隔たりなく
信頼関係を築くための地域の
雰囲気づくりを模索しています。
そのために、まず大人同士が
真摯な議論ができる環境づくり
をしながら、人材確保・人材育成を
進め、「まちづくりはひとづくり」
の基礎に立ち返りたいと考えます。

活動内容

赤間神宮宮司のお話し及び芳一堂の見学
耳なし芳一紙芝居 (NPO法人 青少年共育活動協会)
琵琶演奏 (北田富美子さん / 筑前琵琶 早鞆旭会代表) 及び琵琶体験
耳なし芳一トリビア ×クイズ、まとめ

今後の展開

外国人も多く訪れる赤間神宮での貴重な話や体験を通じ、下関に対する意識も変わりました。
また、知っているようで知らない、市原悦子、常田富士男が語る「まんが日本昔ばなし」にも登場する「耳なし芳一」をわかりやすく紙芝居で聞くことにより歴史観にも変化が生じました。
今後も、歴史をベースにした体験活動を行いながら、子供たちの成長、ひいては、まちづくり協議会の成長につなげたいと考えます。

活動のきっかけ

地域に昔から伝わる怪談「耳なし芳一」
の話の小・中学生(養治小・文関小・名池
小・王江小、日新中、名陵中)に聞かせた
り、琵琶に触れることで、下関市の歴史に
興味を持ち、地域を守り育てる意識を醸成
すると共に、夏休みの思い出や、相互の
つながりづくりの一助とするため、子育て
・青少年育成部会が発案しました。



西部地区まちづくり協議会

メールアドレス qqsp7hv9k@cap.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

設立年月日 平成 28 年 2 月 2 日

事務所 〒750-0065 下関市伊崎町一丁目 4 番 30 号

西部公民館

☎ / ㉨ : 083-250-6455

地域の状況 (人口) 12,040 人 (世帯数) 7,453 世帯 (H30.10.1 現在)

(中学校区) 文洋中学校 (面積) 3.25 k m²

設置部会 総務部会、福祉部会、教育部会、安全・安心部会

活動の概要 ・ 広報紙の発行 ・ 認知症カフェの運営 ・ 地域ふれあいフェスティバル
・ 照子親 ・ 防災教室 ほか



事例No.1 : オレンジカフェ「つづみ」 卓球バレー



1 回の平均参加者
約 70 名

活動のきっかけ

西部地区は、高齢化率が高く、一人暮らしのお年寄りも増えてきています。このような現状にあるため地域の皆さんが集える場所としてオレンジカフェつづみを開設しています。

【つづみの思い】

1. 病気を意識せずに気楽に過ごせる。
2. 自分の役割が持てる。
3. 自分と家族が社会と繋がる。

活動内容

開催時間:	午後 13:30 ~ 15:00 まで
	(7月と2月は午前 10:00 ~ 11:30 まで)
第 1 回	4月 7日(土) 卓球バレーと茶話会
第 2 回	5月 12日(土) 音楽で遊ぼう 音楽療法
第 3 回	6月 2日(土) 卓球バレーと茶話会
第 4 回	7月 7日(土) 友田浩司と六木ひろし公演
第 5 回	8月 4日(土) 笑いヨガ
第 6 回	9月 1日(土) みんなでちょっと体操
第 7 回	10月 6日(土) フロイデ金比羅によるイベント 台風で中止
第 8 回	11月 3日(土) 手品と体操
第 9 回	12月 1日(土) 卓球バレーと茶話会
第 10 回	1月 5日(土) 三味線で一緒に
第 11 回	2月 2日(土) みんなで歌おう 懐メロ
第 12 回	3月 2日(土) 卓球バレーと茶話会

活動の成果と今後の取り組み

この活動を始めては3年目となり、西部地区の多くの住民が参加されています。平成30年度からは、新メニューとして卓球バレーを取り入れました。これは、障害のある方もない方も一緒に楽しめる日本発祥の共生型スポーツです。年に3回程度計画していますが開催するたびに参加者も増えており、今後もオレンジカフェつづみは継続していきます。活動内容についても皆さんが楽しく参加できる企画を考えていきたいと思っています。

まちづくり
のヒント

活動事業を効果的に
進めるためには・・・

組織体制の確立
計画的な予算
活動の内容や規模に応じた
活動エリアの設定

が必要だと考えます

事例No.2 : 防災教室



活動のきっかけ

近年、豪雨災害や大地震などの自然災害が各地で発生し、多くの被害がでています。昨年の豪雨災害では下関市でも被害が多数発生しました。

今回の防災教室では、いざ自分の地域が被災した時に、どのようにして命を守るのか、どこに避難すればいいのか、避難所に行くルートは安全かどうかなどについて、地域住民が作業し、発言し、実際の生活目線で考えることにより、防災意識を高め、災害時の対処について知識をつける事を目的として企画しました。

参加者

89名

活動内容

下関市が発行しているハザードマップの説明
自分の命を守るためにもハザードマップを正しく理解し
役立てる。

D I G (図上訓練)により各地域ごとに被災時の避難等
について考える。

災害図上訓練は、地域での大きな災害が発生する事態を
想定し、地図にペンを用いて、危険が予測される地帯また
は事態を書き込んでいく訓練です。

A E D 模擬実施

A E D に実際に触れてみる。いざという時にきっと役に立
つ。

今後の展開

特にD I G (図上訓練)においては、事
前に危険を予測できることと同時に、避難
経路、避難場所、即応性ある避難準備の徹
底、地域住民や関係機関との連携、参加者
間の共有などが確認できたと思います。

向洋地区まちづくり協議会

メールアドレス koyochikumachidukuri@helen.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

設立年月日 平成 28 年 9 月 1 日

事務所 〒750-0047 下関市向山町 14 番 1 号 向山小学校内

☎ / 📠 : 083- 250-7333

地域の状況 (人口) 9,583 人 (世帯数) 5,278 世帯 (H30.10.1 現在)
(中学校区) 向洋中学校 (面積) 1.92 k m²

設置部会 総務部会、福祉部会、生活環境部会、健全育成部会

活動の概要
・地域づくり研修会 ・広報紙の発行 ・HP の作成管理
・高齢者対策事業 ・防災マップ作成 ・図上防災訓練
・社会参加促進事業 ・PTA 連携集会 ほか



事例No.1 : 文化の継承 「門松作成」

活動のきっかけ

手作りの門松を地域の施設に贈呈し、多くの方が清々しい心で新年を迎えられたら、との思いから平成 29 年度より活動をスタートしました。

今後も継続的に皆で力をあわせて行なったほうが良いとの意見が多くありました。



【参加人数】

29年度 50名

30年度 90名

活動の成果と今後の取り組み

小・中学生のボランティアなど地域の人達、延べ90名が参加し、門松を作成し、教育センター、中央こども園、市民センターなどに贈呈する事ができました。昨年と違うメンバーが多く参加しており、取り組みが地域住民に伝わり、また多くの人達が参加することによって地域の交流の場が広がったように思われます。

今後は自分達で家庭用に門松を作成出来る様に広めたいと思います。

【工夫した点】

平成29年度：
1日で製作にかかる作業を実施
スケジュールがタイト

平成30年度：
日程を2日に分け
●1日目に竹の切り出し、
講習を兼ね、2対を作成
●2日目に残りの製作作業

事例No.2 : 地域児童との交流会

活動のきっかけ

役員会の中で卒業生となにか思い出を作ることには出来ないだろうかとの意見があり、学校との話し合いを通じて、地域の方々との交流は生徒にとってもいい思い出になるので、学校としても積極的に行いたいとの意見がなされ、当該活動をスタートしました。



活動内容

周南市からボランティアでマジックの公演をしている講師を招き、生徒の目の前で実演したり、最後には誰でも出来る簡単なマジックを教えていただきました。

公演終了後には、学校からの計らいで教室にもどり生徒さん達と一緒に楽しい給食をいただき、楽しい交流会が出来ました。

今後の展開

大変有意義な交流が出来たと思います。今後もこの取り組みを継続的に続けていこうと考えます。

次回からは、より早い時期から学校と協議を行い、より多くの地域住民が参加できるよう、検討を進めていきたいと思っています。

山の田地区まちづくり協議会

ホームページ <http://yotuba2017.sakura.ne.jp/>

メールアドレス yamanotamachizukuri@road.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

設立年月日 平成 28 年 6 月 14 日

事務所 〒751-0834 下関市山の田東町 4 番 13 号 北部公民館内

☎ : 083-250-7955 ☎ : 083-250-7965

地域の状況 (人口) 18,490 人 (世帯数) 9,341 世帯 (H30.10.1 現在)

(中学校区) 山の田中学校 (面積) 3.77 k m²

設置部会 総務部会、健康福祉部会、青少年育成部会、安全・安心部会、
環境部会、産業・文化部会

活動の概要

- ・ 広報紙の発行 ・ ホームページの作成管理 ・ 美化運動
- ・ 河川の自然環境保全 ・ ハザードマップ作成 ・ 防犯講習会
- ・ 認知症対策 ・ 健康推進対策 ・ 地区の歴史探求 ほか



事例 : 四季折々の花が咲き、蝶々が 乱れ飛ぶ、美しいまちづくり事業



活動のきっかけ



山梨県富士本栖湖の芝桜、茨城県ひたち海浜公園のネモフィラ、東京浜離宮恩賜庭園の菜の花など、全国で有名な花畑には、その評判を聞き全国から多くの方々が観賞に訪れます。下関市でもリフレッシュパーク豊浦を始め、火の山チューリップ園や長正司公園藤の棚等にも多くの観光客が観賞に訪れており、また、市役所前花壇や9号線沿い花壇などにも市民の方々のお手伝いを得て栽培され、まちの美化に役立っています。山の田地区の住民一人一人が協力し、一人5本の花を植え育てることで、10万本の花が咲く美しく安全で安心な街づくりに結び付くとの地域力アップ事業提案から取り組みました。花を植えまちをきれいにしていく取り組みが、青少年健全育成につながるとともに、日々の管理が高齢者の日課となって、孤独感の解消やうつ・認知症予防にも効果があると考えました。

活動内容

管内自治会や各種団体並びに小中学校と協議開始

植える場所の設定や苗・土・肥料他必要品の手配・水やりや見回り者の選定等相談
周辺及び植付花壇の一斉清掃活動を実施

花壇の土づくり、そして苗植えを行い、栽培管理や水やり・雑草取り等都度実施

植える花の種類はその地域の希望にそって手配

統一の花として「フジバカマ」を選定

リフレッシュパーク豊浦の指導を受け、植える場所の選定や土・肥料他必要品の手配、
水やりや見回り者の選定等相談し、花壇土づくりを実施

2月10日リフレッシュパーク豊浦に41名で「フジバカマ」の苗取りに行き、572苗を採取、
根を洗浄し育苗ポットに入れ持ち帰り、植付場所ごとに分け各自1~2か月養生し、

2019年4~5月に花壇等に植付現在育成中

秋期花が咲けば蝶々アサギマダラの飛来が期待でき、各地で観賞できると思います

今後の展開

令和元年以降も継続して花の苗他の支給を行い、当初目標の10万本の花畑を構築してまいります。フジバカマの苗の採取を継続して行い植え付け箇所も年々拡大させ、アサギマダラの飛来するまちとして全国にその名が轟くよう推進を図っていきたいと考えます。

地元住民の方々に事業内容を理解して頂くことが大切であり、その為には各自治会、自治連合会を始め、地区社協、小中学校PTA他各種団体に実施内容のPRと事業への参加呼びかけを徹底して行うことが大事だと考えます。

「街がきれいになった」、「花壇がきれいになった」等の成果をアピールし、自分の町内でもやってみたいとの働きかけを、まちづくり協議会挙げて協力を要請していく事が大切だと感じます。

2019年秋にアサギマダラが飛来することによるPR効果を期待しています。

まちづくり
のイベント





彦島地区まちづくり協議会

ホームページ <http://www.hikoshima.jp/>

メールアドレス hikomachi@hikoshima.jp

【協議会 概要】

設立年月日 平成 28 年 7 月 21 日

事務所 〒750-0075 下関市彦島江の浦町一丁目 3 番 1 号 彦島公民館内

☎ : 080-1916-0716

地域の状況 (人口) 26,039 人 (世帯数) 12,949 世帯 (H30.10.1 現在)

(中学校区) 彦島中学校・玄洋中学校 (面積) 11.26 k㎡

設置部会 総務安全部会、健康福祉部会、子ども部会、六連島部会

活動の概要
・地域づくり研修会 ・広報紙の発行 ・ホームページ作成管理
・広域防災訓練 ・高齢者のサポート ・スポーツ大会
・あいさつ運動 ・子育て支援 ・多世代交流 ・島外との交流会 ほか



事例No.1 : 多世代交流事業「彦まちカフェ」

活動のきっかけ

65歳以上人口が、全体の36.4%(H28.10.1現在)を占めていた彦島地区において、「ふれあいサロン」を提供することで、人と関わることの大切さや楽しさを知っていただけたら、と事業をスタートしました。

明るく元気に、健康な心身を育むことにより、認知症予防、孤立防止にもつながると考えています。



元気に生きるために大切なこと

- 今日行くところがある キョウイク(教育)
- 今日用事がある キョウヨウ(教養)

活動内容

- ・ 第 7 回 10月10日(水): 歌声広場【120人】
- ・ 第 8 回 11月21日(水): 絵手紙【76人】
- ・ 第 9 回 12月19日(水): 元気体操【112人】
- ・ 第 10 回 1月23日(水): 多肉植物の寄せ植え【102人】
- ・ 第 11 回 2月20日(水): 移動カフェ【145人】
- ・ 第 12 回 3月17日(日): 彦まちカフェ・フェスタ【500人】



活動の成果と今後の取り組み

楽しく地域交流ができ、また、認知症予防、孤立防止に資する取り組みとなったと考えます。

活動にあたっては・・・

- ・ 地域住民の意見に耳を傾け、広く、率直に、聴く！
- ・ 関係団体との日常的な情報交換及び連携の強化に努める！
- ・ まちづくり協議会として組織決定したことを尊重する！
- ・ 所属以外の部会のメンバーも積極的に参加する！

活動の成果と今後の取り組み

- ・ 遠くて参加できない方を対象とした「移動カフェ」の実施（継続）
- ・ 子育て中のママや転入者などを想定したふれあいの場の提供
- ・ 彦島地区の元気で明るく前向きな80代女性の知識等の若い世代への伝承



事例No.2 : 彦島文化再確認事業



活動のきっかけ

彦島に居住していながら、彦島の文化、歴史遺産、地理などについて知らない又は関心がない住民が多く、まちづくりに取り組むためには、まずは自分の住んでいるまちを知ることから始める必要があると考え、この事業に取り組むこととしました。

活動内容

- ・ 実施期日：平成30年11月25日（日）
- ・ 参加人数：62人
- ・ 事業内容：竹の子島史跡ウォーク

今回は、鬼穴、竹の子島大橋、灯台等について、ガイドの説明を聞きながら散策しました。初めて耳にする事柄もあり、参加者は熱心に聞き入っていました。

活動の成果と今後の取り組み

【事業の成果】

現に暮らしている彦島について、より知識等を深めることができたのはもとより、地区住民の交流促進、健康づくりなどにも役立ったと考えています。

【今後の取組み】

- ・ 彦島に住んでいながら日頃交流のない方の参加を促すことによる、住民同士の交流の促進
- ・ 夏休み等を利用した小学生への学習の機会の提供（「郷土愛」を育む）
- ・ 外出の少ない高齢者の知識等を活用することによる、高齢者の生きがいづくり・健康づくり

長府地区まちづくり協議会

ホームページ <http://chofu-machikyo.com/>
メールアドレス chofu-machikyo115@circus.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

設立年月日 平成 28 年 1 月 15 日

事務所 〒752-0966 下関市長府亀の甲二丁目 2 番 1 号 豊浦小学校内

☎/📠 : 083-250-7450

地域の状況 (人口) 16,811 人 (世帯数) 8,017 世帯 (H30.10.1 現在)
(中学校区) 長府中学校 (面積) 10.33 k m²

設置部会 広報部会、教育部会、健康・体育部会、商工業活性化部会、
観光活性化部会、環境・安全部会

活動の概要 ・ニュースレターの発行 ・長府の寺子屋(生涯学習講座)
・健康教室 ・長府IPSSプロジェクト ・観光イベント
・海岸清掃 ・防災教室 ほか



事例No.1 : 三軒屋海岸・御船手海岸清掃【環境部会】

活動のきっかけ

以前から海岸清掃は実施されていましたが、個別団体の単独実施にとどまっていた。まちづくり協議会の発足以来、環境部会の呼びかけで、自治会が行っていた活動に学校や地元企業、地元団体が合同で実施するようになり、広範囲で清掃内容が行き届いた活動になりました。



活動内容

第1回目 平成30年 7月16日(月) 参加者 260名
第2回目 平成30年11月11日(日) 参加者 120名



活動の成果と今後の展開

三軒屋海岸・御船手海岸は瀬戸内海でも珍しく自然海岸が残っている場所です。その貴重な自然を守りたいという思いを込めて活動を実施しています。そのことを多くの方に知ってもらう機会でもあり、また、学校の児童生徒、地元企業の方たちと地域住民との交流の場にもなっています。多くの若い人達が参加することで、大型ごみの回収もスムーズに行えるようになりました。

今後も継続し、自然海岸の美化にとどまらず、長府地区全体の美化の啓発活動につなげていきたいと考えています。

事例No.2 : 長府の寺子屋「カジュアルセミナー」 【安全・教育部会】

活動のきっかけ

「長府の寺子屋」として住民向けに、地元の豊浦小、長府中、豊浦高、長府高の先生方や生徒による様々な分野の生涯学習講座を開設しています。平成30年度はその活動の一環として、初めてセミナーを開催しました。身近で関心が高い内容をテーマに、誰でも普段着で気軽に参加してもらえることを目指し、カジュアルセミナーと称して実施しています。



アットホームな雰囲気を演出するためにセミナーの開始前にフルートの演奏、語り、絵本の読み聞かせを実施しました。

活動内容

開催日時 平成31年3月9日(土) 14時～16時

開催場所 蛭遊苑

内 容 音楽と大人のための読み聞かせ/セミナー「みんなの相続」講師：山下真一氏(ジブラルタ生命保険会社)

参加者
約35名

今後の展開

初回は『相続』をテーマに実施し、30代から80代の幅広い年代の方が参加されました。参加者からは「注意すべきポイントがわかってよかった」「もっと詳しく聞いてみたい」などの声がありました。セミナーが終わってから個別に相談される方もおられ、参加された皆さんの関心の高さがうかがえました。

今後も「身近なテーマを身近な場所で」を目指して、地域の方の声を反映したカジュアルセミナーを開催していきたいと思っています。



事例No.3 : 健康講座 【健康・体育部会】

活動のきっかけ

健康づくりの基本として、健康に関する理解、特に生活習慣病の予防についての正しい知識を持つことで地域住民の健康増進の一助になればという思いで、定期的に健康講座を開催することとしました。

参加者
「健康づくりについての
ヒントが聞けて良かった」
「定期的に開催して欲しい」

今後の展開

元気で明るいまちづくりには、地域住民の健康づくりが必要です。医療機関、専門機関と連携しながら今後も続けていきたいと考えています。

活動内容

健康講座 『糖尿病を知ろう』～糖尿病専門医と管理栄養士が街のみなさまにお伝えしたいこと～

日 時：平成31年3月30日(土) 10:00～11:30

場 所：長府公民館 講堂

講 師：まつなが医院 糖尿病専門医、管理栄養士

参加者
約53名



長府東部地区まちづくり協議会

ホームページ <https://chofutoubu-machikyo.jimdo.com/>

メールアドレス machikyo-chofutoubu@aioros.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

設立年月日 平成 28 年 4 月 5 日

事務所 〒752-0932 下関市長府松小田北町 14 番 1 号 長府小学校内
☎/📠 : 083-250-8980

地域の状況 (人口) 11,828 人 (世帯数) 5,827 世帯 (H30.10.1 現在)
(中学校区) 長成中学校 (面積) 7.29 k m²

設置部会 つたえよう部会、つくろう部会、つなごう部会

活動の概要 ・まちづくり研修会 ・広報紙の発行 ・ホームページ作成管理
・防災訓練 ・健康づくり ・きれいなまちづくり
・子供・地域の交流 ・世代交流イベント ほか



事例No.1 : 認知症にやさしいまちづくり【つたえよう部会】

活動のきっかけ

認知症に関する啓発を目的にするもので、今後増加すると想定される認知症高齢者が「認知症になっても安心して暮らせる」よう、地域ぐるみで取り組む必要があるとの問題意識が背景となっています。



活動内容

平成 30 年 11 月 17 日(土)

- 「認知症声かけ見守り訓練 in 松小田中町」
- ・長府地域包括支援センター共催
 - ・「認知症サポーター養成講座」を受講
 - ・公会堂周辺で認知症役 3 名の捜索を行いながら「認知症声かけ見守り訓練」を実施

平成 31 年 3 月 10 日(日)

- 「認知症フェア in 長府東部 2019」
- ・参加者約 270 人
 - ・認知症劇、声かけ訓練、ミサンガコンサート、オレンジカフェのコーナー設置等

活動の成果と今後の展開

「認知症声かけ見守り訓練 in 松小田中町」は、今後、小中学生対象のサポーター講座も予定しており、子ども達も一緒に訓練に参加できる機会を検討したいと思います。

また「認知症フェア in 長府東部 2019」では当日が雨天にもかかわらず、地区外、市外からも非常に多くの来場があり、子どもの参加も多く幼い子連れを連れた若い夫婦も散見され、幅広い年齢層が関心を持っていることを窺わせました。

事例No.2 : 災害に強いまちづくり【自主防災組織】

活動のきっかけ

災害への対応には防災教育の向上と助け合いが重要と考え、「地域住民の防災コミュニティの向上」、「災害に対する具体的なイメージ」、「防災の具体的な必要性」を考えるきっかけ作りを地域で行っていきたく考えました。



活動内容

平成31年2月10日(日) 防災訓練を実施
防災マップを用いた避難訓練
AED機器の使用練習、非常食の試食など

参加者87名

今後の展開

初めての経験で避難者のみならず防災組織隊員も共に勉強となりました。なお、令和元年(2019年)度は地域力アップ事業を活用した災害弱者に特化したまちづくりの取り組みを実施することとしており、防災マップ作成のための現状確認・資料作成、要介護者の避難方策をシミュレーションし、防災講習会の開催、避難所運営ゲームの実施、小中学生対象の防災勉強会も今後検討していきたく思います。

事例No.3 : まちづくり計画の策定

活動のきっかけ

まちづくり協議会の活動は、まだ一部の方の関わりに止まっており、人口減少や少子高齢化の将来を見据えるなかで、これからのまちづくりの提案書として、まちづくり計画をまとめ地区住民の皆さんに課題を周知し、共通の目標に向かって歩んでいくこととしました。

平成31年3月

長府東部まちづくり協議会

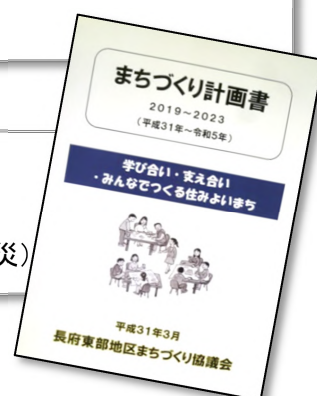
「まちづくり計画書」策定

地区の目標【地区の目指すべき】

地域3大イベントへの新企画(ふるさと祭り、どんど焼き、四王司山登山)
学び合い・集いの場づくり(児童館新設アクションプラン作成、四王司塾の開設、学校地域連携)
ふれあい・支え合いの地域づくり(あいさつ運動、買い物支援、いきいきサロン)
安全・安心で住み良いまちづくり(自主防災組織活動、認知症にやさしいまち、通学路の安全確保、クリーンな環境)

長府東部わがまち憲章

- 1、私たちは健やかなからだと豊かな心を育むまちをつくります(個人)
- 1、私たちは大人の優しさとこどもの元気が広がるまちをつくります(相手)
- 1、私たちは誰もが安心して安全に暮らせるまちをつくります(まち協全体と防災)



東部5地区まちづくり協議会

メールアドレス toubu5k@wind.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

設立年月日 平成 27 年 12 月 1 日

事務所 〒750-1142 下関市小月本町一丁目7番7号 小月公民館内
☎/📠 : 083-250-7330

地域の状況 (人口) 25,948 人 (世帯数) 11,801 世帯 (H30.10.1 現在)
(中学校区) 東部中学校・木屋川中学校 (面積) 73.39 k m²

設置部会 総務部会、環境部会、安全・安心部会、健康福祉部会、
青少年育成部会、産業・観光部会

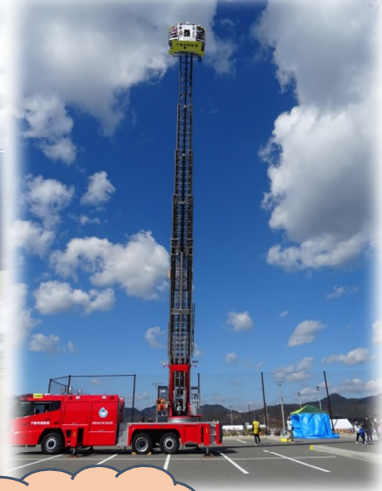
活動の概要
・ 広報誌発行 ・ 中学生まちづくりアンケート実施 ・ 防火訓練及び防災研修会
・ 災害時対応ゲーム ・ 視察研修 ・ 認知症、徘徊者声かけ模擬訓練
・ 青少年体験学習 ・ ゴミのポイ捨て防止看板設置、ゴミのポイ捨てパトロール
・ 観光散策マップ作成 ほか

事例No.1 : 子どものための防災教室 【青少年育成部会】

活動のきっかけ

「自分の命は自分で守る」
「自分たちの地区は自分たちで守ろう」という自覚及び連帯意識を持たせ、自主防災意識の高揚を図り、今後起こるかもしれない災害に備えるべく当該事業に着手しました。

また、小学校区間の子どもの交流としても有効だと考えました。



参加者 192 名

活動内容

- ・ はしご車搭乗体験
- ・ 煙体験
- ・ 応急救護
- ・ 消火訓練(水消火器)
- ・ ロープ結索訓練
- ・ 布担架作成
- ・ 炊出し訓練

活動の成果と今後の展開

- ・ 身の回りの物を使ってみんなで協力して救助することや、実際さながらの煙体験など、被災した時はどうすればよいか、親子で話す良いきっかけになりました。
- ・ 東部5地区全体での初めての活動であり、全体で集まったの活動の難しさを実感しましたが、参加者からは「とても良い体験になった」「来てよかった」との意見をいただきました。

事例No.2 : 花いっぱい運動 【環境部会】

活動のきっかけ

地域住民の交流と環境美化を推進するべく当該事業に着手しました。



活動内容

- ・小月小学校の2年生65人と、ナデシコの苗、約980株をプランターに植付
- ・プランターを、小月本町通りの歩道、JR小月駅小月公民館などに設置

活動の成果

ナデシコは、4月頃に咲き始め、色とりどりの花が通りを華やかにしてくれました。また、子ども達と地域の人たちとが交流し、協力することで町が明るくなりました。

事例No.3 : 防災訓練～小月地区



活動のきっかけ

防災意識の高揚のため当該事業に着手しました。

活動内容

- ・消防分団による避難放送
- ・公民館3階講堂にて、参加者点呼訓練
- ・簡単防災グッズ作り
ツナ缶ランプ 新聞スリッパ
ゴミ袋カップ 紙マスク 簡易水タンク
- ・民生委員と高齢者を対象にした防災 ×クイズ
- ・婦人会による給食、給水訓練（炊き出し訓練）

活動の成果

- ・小学生から高齢者まで多数の参加がありました。
- ・身近な物で被災時に役立つ物が作れる事に興味関心をもっていただき、楽しみながら作業でき、また、地域住民が集まって、防災について話をする良いきっかけになりました。
- ・点呼訓練は初めてだったので、どのように点呼すればよいかわからない人が多く、今後定期的実施し、いざという時に慌てず行動できるようにしたいと思います。

勝山地区まちづくり協議会

ホームページ <https://katsuyamachikuinto.wixsite.com/katsuyama>

メールアドレス katsumachi@theia.ocn.ne.jp

【協議会 概要】



設立年月日 平成 28 年 12 月 15 日

事務所 〒751-0872 下関市秋根南町二丁目 4 番 33 号 勝山公民館内

☎ / 📠 : 083-250-7522

地域の状況 (人口) 25,014 人 (世帯数) 12,283 世帯

(H30.10.1 現在)

(中学校区) 勝山中学校 (面積) 21.94 k m²

設置部会 地域活性化部会、教育文化部会、健康福祉部会、居住環境部会、安全安心部会

活動の概要

- ・ 広報紙発行
- ・ 歴史文化研究と継承 (絵本制作、郷土史研修)
- ・ 地域の防犯、防災対策
- ・ 地域活性化対策
- ・ 健康フェスタ
- ・ 美化運動 (花いっぱい活動、カラス被害撲滅活動) ほか

事例No.1 : 勝山歴史事業及び昔話絵本の制作・配布

活動のきっかけ

明治維新150年を記念した事業への取組みと勝山御殿跡が国の史跡に指定されることから、記念イベントを行ってはどうかという意見が出たのをきっかけにして、市教育委員会とも連携しながら、勝山御殿跡を多くの人に知ってもらおうと企画しました。



活動内容

11月24日 勝山公民館にて国史跡指定のセレモニーを経て、公募又は各自治会や中学校の生徒による仮装行列行進を勝山御殿跡まで行い、現地では、ふく鍋の振る舞いや餅まきを行いました。

11月25日 歴史ウォークラリーとして、市文化財保護課の学芸員の説明を聞きながら史跡巡りを行いました。

この事業に関連する形で、勝山小・一の宮小児童による昔話絵本「勝山御殿物語」を制作し、関係方面への配布やイベントでの展示等を通じて勝山御殿の史実の啓発に活用しました。



活動の成果

より多くの人に勝山御殿の魅力や勝山の歴史について関心を持ってもらえるようになったと思います。勝山御殿跡には国史跡指定の横断幕を掲げました。今後は、他県の方々にも来てもらえるように、勝山御殿跡周辺の整備にも取り組みたいと考えます。

事例No.2 : 健康フェスタ開催

活動のきっかけ

『地域の皆さんと一緒に健康について考えよう』と声かけを行ったところ、保健所・医師会・企業の賛同があり、フェスタを開催することとなりました。

活動内容

血液チェック、ストレスチェック、身体のゆがみチェック、認知症早期発見チェック、人と人とのつながりチェック、環境に優しいガス、保険相談、食育相談、非常食展示、みんなでゲーム、マジック・オカリナなどのショー、幼稚園・保育園児の絵展示 等

ごみ分別ゲーム



ちびっこアーティスト絵画展



ワメコ（ステージイベント）



食・食育



活動の成果と今後の展開

勝山地区の多くの方の参加があり、健康について関心を持ってもらえたと思います。今後も、地区の方々と一緒に健康について学んでいくための声かけを続けていきたいと考えます。

内日地区まちづくり協議会

ホームページ <https://utsui-machikyo.jimdo.com/>

メールアドレス utsuimk01@helen.ocn.ne.jp



【協議会 概要】

設立年月日 平成 28 年 1 月 26 日

事務所 〒750-0253 下関市大字内日下 1146 番地 5

内日公民館内

☎ : 090-9067-7944

地域の状況 (人口) 1,134 人 (世帯数) 522 世帯 (H30.10.1 現在)

(中学校区) 内日中学校 (面積) 29.64 k m²

設置部会 総務部会、産業・環境部会、暮らしの安全と教育部会、
活性化・イベント部会

活動の概要

- ・地域づくり研修会 ・総合防災訓練 ・広報紙の発行
- ・ホームページの作成管理 ・農業の担い手の育成 ・子どもの見守り
- ・高齢者の見守り ・学校と地域の交流 ・イベントの実施 ほか

事例No.1 : 内日のみんなで手づくり『ペットボトルツリー』

活動のきっかけ

内日地区は大きな観光資源や施設が乏しく、また近年の少子高齢化により地域の活力が失われつつあります。

そこで、住みたい、帰りたいと思ってもらえる地域のシンボル作りとして、使用済みペットボトルを再利用したクリスマスツリーの製作・掲示の取り組みをスタートしました。沿道を往来する車両や来訪者に内日地区を知ってもらおうきっかけになればとの願いも込めました。



平成30年度は、ツリー鑑賞イベントを実施
2日で約80人の人々がツリー前に集う
特に故郷に帰省している若者等の交流の場になった

活動の成果と今後

この取り組みは3年目となり、年々スケールアップしてきました。今では、内日地区を代表する冬の名物として地区内外の認知度も上がっており、地区住民の意識も上向いています。

当協議会の活動の柱となったこの事業を今後も形を変えながら継続していきたいと思えます。

活動内容

使用済み500mlペットボトルを約7000本収集
県道脇の旧内日ライスセンター前広場にクリスマスイルミネーションとして彩られたペットボトルツリー2本(約5mと4m)を製作し掲示

●掲示期間：平成30年12月2日～平成31年1月27日

事例No.2 : 内日小・中合同大運動会への地域参加

活動のきっかけ

内日小学校児童数18名・内日中学校生徒数15名による、内日校区の特色である小・中合同大運動会に地域の人々も参加することで、大いに盛り上げ、休日のひとときを楽しく過ごしてほしいという思いから企画をスタートしました。



参加者
地域住民
約50名

活動内容

自治会を中心に、児童・生徒のいない世帯からの参加を呼びかけ、老若男女問わず簡単にできてケガのないような競技を企画し地域一体となって運動会を盛り上げました。

今後の展開

過去2年にわたって参加してきましたが、運動会に地域として参加するようになって、より身近に児童・生徒とふれあうことができたと感じます。また、地域の方々と顔を合わせるよい機会となり、コミュニティの絆がより深まった気がします。

事例No.3 : 振り込め詐欺被害防止の寸劇上演

活動のきっかけ

高齢者を対象とした詐欺被害が多発しており、内日地区も高齢化に伴って今後、詐欺被害も増加してくるのではないかと考えられます。

少しでも詐欺被害の防止に貢献したいとの思いからこの事業をスタートしました。



活動内容

暮らしの安全と教育会会の有志数名が、シナリオや小道具を作成し、練習日を決めて打ち合わせやトークの練習などを行いました。平成29年11月頃から練習を開始し、平成30年9月7日内日地区敬老会にて『振り込め詐欺防止の寸劇』を上演したところ、大変好評でした。それを受けて、平成31年4月の長寿会総会においても『令和改元詐欺防止の寸劇』を上演する運びとなりました。

活動の成果

上演場所の年齢層や時事問題に合わせ、今後は、さらにパターンを増やして、機会があればどんどん上演していきたいと練習を重ねています。高齢者を含めた地区住民全体に詐欺被害についての関心と知識を持ってもらえるよう、さらに活動の幅を広げていきます。

川中地区まちづくり協議会



ホームページ <http://www.kawamachi-dukuri.jp/>
メールアドレス kawamachi@galaxy.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

設立年月日 平成 28 年 9 月 28 日

事務所 〒751-0864 下関市伊倉町二丁目1番1号 川中公民館内
☎ / ㉨ : 083-250-6525

地域の状況 (人口) 35,258 人 (世帯数) 16,345 世帯 (H30.10.1 現在)
(中学校区) 川中中学校・垢田中学校 (面積) 8.00 km²

設置部会 総務・産業部会、安全・安心部会、環境部会、福祉部会、
子ども育成部会、健康スポーツ部会

- 活動の概要
- ・地域づくり研修会 ・広報紙の発行 ・ホームページの管理
 - ・高齢者対策事業 ・地区防災訓練 ・案内看板製作
 - ・花いっぱい運動 ほか

写真：長州出島に沈む夕日



事例No.1 : 川まち弥生まつり

綾羅木郷遺跡 史跡指定50周年記念！！
参加者約1500人



活動の内容

ステージ部門

- (1) 式典及び「やよい絵画展表彰」
- (2) アトラクション
合奏・合唱、演芸、ダンス、
朗読、フィナーレ餅まき等
弥生土器作成再現「土器の野焼き」

体験学習部門

- (1) 史跡めぐり(史跡ウォークラリー)
- (2) 勾玉づくり体験

出店部門

- (1) 飲食コーナー(5団体出店)
- (2) フリーマーケット等(18団体出店)

活動のきっかけ

綾羅木郷遺跡が史跡指定を受けて50周年になることを記念して企画しました。

歴史的な地域の宝物であることから、地域の活性化に繋がると考え、考古博物館とタイアップして実施することにしました。この事業が盛り上がりを見せれば、継続的、発展的に実施して行くことを考えています。

子ども育成部会担当事業 事例No.2 : 「子ども体験フェア」



活動のきっかけ

川中地区の子どもたちの健やかな成長と豊かな心を育むため、夏休みの自主学習を兼ねる工作等も取り入れた、体験フェアを企画しました。

併せて、このような体験を通して、「地域の方々とのふれあい」や「子どもたちの交流」「親子の交流」ができればと思っております。

参加者

335名

活動内容

「子ども体験フェア」

ポンポン船作り 竹とんぼ作り ビーズアクセサリとストラップ作り ティッシュ箱作り
アルバムカフェ 折り紙 バルーンアート みそ汁とおむすび作り 体操遊び

安全・安心部会担当事業 事例No.3 : 「非常時炊き出し研修」

活動のきっかけ

防災対策の一環として、災害時における避難場所での炊き出し研修を行うことで、実際の避難時に対応できるように、心構えと共に実技も習得してもらおうと企画しました。

活動内容

安全・安心部会の代議員及び他の部会の代議員も参加して、山口県赤十字防災奉仕団地区委員の指導のもと真摯に向き合い、熱心に取り組むことができました。併せて「救急処置」の実技の基礎も研修し、習得することができました。

安岡地区まちづくり協議会

ホームページ <http://yasuoka-kataroute.jimdo.com/>

メールアドレス sukizaki583@vega.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

設立年月日 平成 27 年 12 月 15 日

事務所 〒759-6612 下関市安岡駅前二丁目 7 番 1 号 安岡公民館内

☎ / ㊟ : 083-250-8110

地域の状況 (人口) 14,518 人 (世帯数) 6,889 世帯 (H30.10.1 現在)

(中学校区) 安岡中学校 (面積) 16.40 k m²

設置部会 総務部会、住民要望実現部会、事業推進部会、雇用創出部会

活動の概要

- ・地域づくり研修会
- ・広報紙の発行
- ・フィールドワーク
- ・防災マップの作成
- ・ふれあいフェスタ
- ・高齢者の見守りと交流
- ・友田川ほたる育成
- ・安岡名勝、遺跡マップ
- ・なかよし文庫 ほか

事例No.1 : ほたる授業

活動のきっかけ

ほたるの小さな命を大切に育てる心を育むことを目的に響灘ライオンズクラブ、安岡自治会連合会により 20 年間取組まれていましたが、平成 27 年に中断しており、平成 29 年から友田川の環境美化も含めた取組としてスタートしました。



活動の成果

生き物・自然・環境について聞いたり、調べたりと一人一人の探究心が向上
地域の子もたちが、ほたる飼育を通して、命の尊さ、自然の保全、ゴミのポイ捨てなどの環境問題について学ぶ

活動内容

ほたる観賞会 (5 月 26 日)
児童及び保護者、先生とともに種ポタルの採集
ほたる授業 (まち協による出前講座 6 月 25 日・26 日)
豊田ほたるミュージアム見学学習会 (9 月 26 日)
児童によるグループ発表の実施 (10 月 17 日)
学習発表会での成果発表
ほたる放流式 (11 月 16 日)

その他、地域美化運動として、毎週日曜日
「ピカピカウォーク」を実施！！

事例No.2 : やすおかマルシェ『カオスヤストリート』



活動のきっかけ

「安岡駅前通りを活気溢れる通りにしたい」という、まち協の若いメンバーからの働きかけをきっかけにスタートしました。

平成30年3月18日(日)に第1回を実施したところ、若者の来場が目立ち、来場者からの励ましの声、「定期的を実施して欲しい」等の前向きな意見を多数いただき、若者の発想をまち協がバックアップする形で、地域のにぎわい創出のイベントとして確立したい思いから、第2回を実施しました。



活動内容

「安心して楽しい安岡」を目指し、安岡地区の中心となる安岡駅前の賑わいを創出することによって、「安岡の魅力と名産品の再発見」「地域住民の交流拡大」を図り、ひいては安岡地区全体の活性化につなげる、を目的に、ハロウィンをテーマとして開催

日時：平成30年10月21日(日) 10:00~16:00

場所：JR安岡駅前歩行者天国、村田実商店駐車場など
イベント

- ・スタンプラリー
- ・かぼちゃランタン作り
- ・ハロウィン仮装
- ・段ボール広場でキッズ工作、落書き広場
- ・下関で唯一の薪で炊く銭湯(だるま湯)体験ツアー
- ・大道芸(風船芸、マジック)

出店及び協力店：29店

来場者：1800名



今後の展開

イベントも多彩になり、他地域を含む各種団体から参加したい申し出がありますが、まち協の活動目標に沿った、賑わい創出、地域産業の育成等逸脱しないよう開催を継続していく必要があります、また、まち協の支援は継続していくものの、まち協頼みにならないよう、出店料等自主財源での実行委員会などの任意団体による自主開催を検討する必要があると考えます。

吉見地区まちづくり協議会

ホームページ <http://yoshimi.lomo.jp/>

メールアドレス yoshimichiku-machidukuri@outlook.jp

【協議会 概要】

設立年月日 平成 27 年 11 月 4 日

事務所 〒759-6523 下関市吉見下 1533 番地
吉見公民館内

☎ : 083-250-8756 ㊟ : 083-250-8211

地域の状況 (人口) 5,586 人 (世帯数) 2,964 世帯 (H30.10.1 現在)
(中学校区) 吉見中学校 (面積) 26.50 k m²

設置部会 まちづくり部会、安全・健康・教育部会、イベント部会、
吉母部会、蓋井島部会

活動の概要 ・ ホームページの作成管理 ・ 広報紙の発行 ・ 広域防災訓練
・ 吉見駅周辺の環境整備 ・ 毘沙ノ鼻整備および広報
・ 蓋井島島内整備 ほか



事例No.1 : 吉見“あじさい”パーク計画

活動のきっかけ

地域の中心である JR 吉見駅の裏にある遊休地が荒廃し、雑木、雑草が生い茂り、駅から見える景観対策が課題になっていました。

そこで“爽やかな環境のまちづくり”を目標に、当該エリアの花いっぱい運動をスタートしました。



活動内容

除草作業、2,000 m²整地

10月27日(土)に「あじさい植栽会」を実施

吉見小学校、吉見中学校の生徒の参加を得て、地域住民約150名により
1,600 m²に400本以上のアジサイを植えました。

11月15日に吉見中学校生、花いっぱいボランティア
と駅前及び構内にナデシコを植えました。

駅前看板のリニューアル、観光案内マップ作成し、10月5日(金)に駅前
看板のお披露目会を実施し100人の人が集まりました。



今後の課題と展開について

数年後にアジサイが大きく育ち立派なアジサイ園になることを目的にしていますが、今後の除草、夏の水遣り、枯れた物の補植等維持管理に多大な労力と費用を要することや、残った遊休地の荒廃部分の整備をどうするかなど多くの課題があります。近い将来に「あじさい祭」と呼べるイベントの実施を目指しています。

事例No.2 : 本州最西端「昆沙ノ鼻」プロモーション

活動のきっかけ

吉母地区の全体をアピールするべく、本州最西端の地である昆沙ノ鼻を観光資源として有効活用することとしました。

活動内容

昆沙ノ鼻公園に「鯉のぼり」30匹設置（5月4日）
「木彫り干支」設置
吉母富士登山会（12月2日）参加者約50名
昆沙ノ鼻ウォーキング（3月24日）参加者約170名
吉母かるたの作成 保育園、小中学校等各種施設に設置
11月17日（土）ジャンボかるた大会を開催
史跡に係る説明看板を設置
6月24日、3月24日に史跡ツアーを実施
観光客へのボランティアによるツアーガイド開始



今後の展開

今後もイベントを継続し、観光スポットとして定着させる事を目指しています。鯉のぼりの提供、木彫り干支作成、登山道整備、ボランティアガイドなど地域住民、水産大学生などの温かい支援に支えられています。



事例No.3 : 蓋井島 島内整備事業

活動のきっかけ

市内に二つある有人離島のうちの一つである蓋井島の活性化を目的に、休憩所の設置や、「しま山100選」に選ばれた金比羅山にある散歩道「やまどりの散歩道」への階段設置、島内の草刈など維持管理に務めています。

草刈など島内整備には島民を挙げて取り組んでおり、30年度は280年以上受け継がれ、国の重要有形民族文化財に指定された「山の神」の森にて6年に一度の「山ノ神神事」が11月23日から25日まで行われました。



菊川地区まちづくり協議会

ホームページ <http://kikugawa-machikyo.jimdo.com/>

メールアドレス machi-kiku927@dune.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

設立年月日 平成 27 年 9 月 28 日

設置部会 〒750-0313 下関市菊川町大字田部 747 番地 4
菊川総合支所第 3 庁舎内

☎ / 📠 : 083-250-8401

地域の状況 (人口) 7,645 人 (世帯数) 3,329 世帯 (H30.10.1 現在)
(中学校区) 菊川中学校 (面積) 83.78 k m²

●設置部会 総務部会、健康福祉部会、地域活性部会、防犯防災環境部会、
青少年育成部会

活動の概要 ・障害者同志の交流会 ・菊川町賑わい事業 ・介護予防健康セミナー
・地域安全事業 ・高齢者見守りセミナー
・きくがわ「地域と学校をつなぐ安心安全プロジェクト」 ・キッズフェスタ 2019
・農業活性化講演会 ・広報紙発行 ほか

事例No.1 : キッズフェスタ 2019



活動内容

会場 菊川ふれあい会館 多目的ホールほか
イベント ・はいはいレース ・雑巾がけレース
遊び屋台 ・ふわふわドーム ・射的 ・ダーツ等
体験教室 ・ストラップづくり ・琴体験教室
実験教室 ・3ブース(市保健部、市環境部、菊川中学校)
絵本の読み聞かせ及び人形劇

活動のきっかけ

菊川町も少子高齢化が進み、小学校入学児童が4名という学校も出てきており、子供たちが徒党を組んで遊ぶギャングエイジ体験をすることが困難になってきている現状があります。

このような時代に、本町及び近隣の親子が一堂に会し、日ごろ体験できないような遊び等を提供することにより、出会いと思い出をつくり、ふるさと菊川への思いを深めてもらう場としたいとの思いから実施しました。



成果と今後の展開

今年度で3回目の開催で、当該事業が町民に周知されてきたこともあり、参加者も年々増え、子供たちに故郷の思い出づくりとしての存在感が増してきています。

「はいはいレース」は年々参加者が増えてきており、祖父母が遠く離れた孫を呼び寄せる等、家族の絆が深まるイベントとなっております。

当該事業は着実に定着してきている状況にあり、今後、菊川町の冬季イベントとして更に創意工夫を行い、発展させていきたいと考えます。

事例No.2 : きくがわ「地域と学校をつなぐ安心安全プロジェクト」



活動のきっかけ

地域ぐるみで、防犯・防災力の高いまちづくりを目的に、「防犯・防災意識のきっかけづくり」のためのイベントと「地域で学校を支える仕組みづくり」を連動させ、取り組みを通して、これからの地域を担う若い世代も加わった地域力のアップを図ろうと実施しました。

活動の成果

地域の各種団体、行政機関との連携が緊密になりました。
 地域有志の連携強化ならびに事業の明確化が行われました。
 学校ならびにPTAとの連携が強化されました。

活動内容

地域の防犯・防災意識のきっかけづくり

- ・こども防災イベントの実施

学校の安全を支える仕組みづくり

- ・緊急連絡システム検証実験実施
- ・緊急時に学校を支援する「きくがわ見守り隊」の結成
- ・「地域安全マップ(こども110番マップ)」WEB版作成(一般には非公開)

まちづくりのヒント

まちづくり協議会だけでなく、町内の他団体等と連携し、一緒に企画活動することにより、地域力を活かし、身近な地域課題の解決や地域活性化に向けた取り組みができると考えます。



豊田地区まちづくり協議会

ホームページ <http://toyota.main.jp/>
メールアドレス <mailto:toyota.machizukuri@clock.ocn.ne.jp>

【協議会 概要】

設立年月日 平成 28 年 2 月 2 日

事務所 〒750-0424 下関市豊田町大字矢田 149 番地 1 豊田生涯学習センター内
☎ / ㉨ : 083-766-0775

地域の状況 (人口) 5,166 人 (世帯数) 2,392 世帯 (H30.10.1 現在)
(中学校区) 豊田中学校 (面積) 163.47 k m²

設置部会 ネットワーク豊田町、ネットワーク殿居、ネットワーク豊田中、
ネットワーク三豊、ネットワーク西市、ネットワーク豊田下、
(各ネットワーク内に、「ふれあいグループ」「ふるさとグループ」
「すこやかグループ」を設置)

活動の概要 ・ 広報紙の発行 ・ ホームページ管理運営 ・ 空家の有効活用
・ まちコンの実施 ・ 有害鳥獣被害防止策 ・ 名所旧跡の整備
・ 交流グラウンドゴルフ大会 ・ 花いっぱい運動の充実
・ 音楽コンサート開催 ・ 祭りで地域を盛り上げる ほか



事例No.1 : 「メモリアル長門ポッポ100」 旧長門鉄道開業100周年記念事業

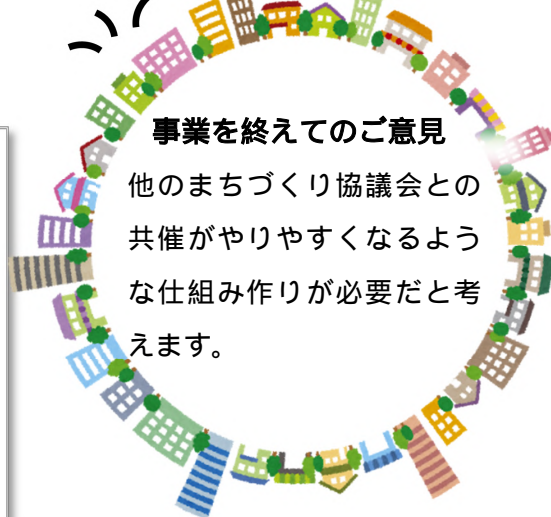


活動のきっかけ

小月～菊川～西市の18.2kmを結ぶ旧長門鉄道は1918年10月7日に開業し、1956年に廃線となっています。2018年が開業100年となることから当時の記憶を呼び起こし、その足跡をたどり、この歴史を後世に伝えるため、沿線の東部5地区・菊川地区・豊田地区の3つのまちづくり協議会共催で行いました。

活動内容

記念式典、記念講演、写真他展示、旧駅名看板及び説明看板設置、記念切手の発行、復刻切符の作成、ミニS Lの走行体験、当時の駅弁当作成、ポスター掲示、旧長門鉄道跡7.6kmウォーキング及びサイクリング1.6kmを実施。この行事に先立ち、旧中山トンネルを通行できるように、菊川地区・豊田地区まちづくり協議会共同で草刈り、通路整備を行いました。



事業を終えてのご意見

他のまちづくり協議会との共催がやりやすくなるような仕組み作りが必要だと考えます。

今後の展開

大変有意義な交流が出来たと思います。今後も旧鉄道跡の路線を中山トンネルを含め、地域を越えて観光資源としてもPRして交流人口が増えてくることを期待します。

事例No.2 : 花いっぱい運動の充実

活動のきっかけ

旧西市高校農業科で生産している花苗を利用して、町内の花壇に春・秋2回植え付け、環境美化を図るべく取り組みを開始しました。



活動の成果

町内の花壇に美しい花が咲き、地区民・外部から来た人々にも喜ばれております。

また、西市小学校の1・2年生も授業の一環として参加しており、地域住民との交流の場となり、また、花の名前も勉強することができます。



活動内容

春苗3,830本(種類:サルビア、マリーゴールド、マシバボタン、インパチェニス、ペゴニア他8種類、計13種類)

秋苗4,020本(種類:パンジー、ビオラ、キンギョソウ、キンセンカ、ハボタン、デージー、クリサンセマム、計7種類)

各ネットワーク、豊田町全体、西市、豊田中、豊田下、殿居、三豊の6団体に支給し、共同作業で花植え及び維持管理を行っております。



豊浦地区まちづくり協議会

ホームページ <http://toyouramatidukuri.wixsite.com/kyougikai>

メールアドレス toyoura-machidukuri@chic.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

設立年月日 平成 27 年 12 月 1 日

事務所 〒759-6301 下関市豊浦町大字川棚 7112 番地 4

☎ / 📠 : 083-227-2744

●地域の状況 (人口) 17,070 人 (世帯数) 8,008 世帯 (H30.10.1 現在)
(中学校区) 夢が丘中学校・豊洋中学校 (面積) 163.47 k m²

設置部会 少子化対策部会、地域活性化部会、生活環境部会、医療福祉部会、
文化・スポーツ部会

活動の概要

- ・ 中期計画の検討
- ・ 道の駅構想検討
- ・ 医療福祉講演会
- ・ 地域マップ作り
- ・ 買物難民対策
- ・ 空き家対策
- ・ 豊浦知っちょる会講演会
- ・ みかん DE デート
- ・ 広報紙の発行
- ・ ホームページの作成管理
- ほか

小串の海から望む厚島

事例No.1 : ボッチャ大会 (豊浦地区 5 地区社協との共催)



参加者約 80 名

(地域児童、社協、手をつなぐ育成会、
NPO 法人「はあとふりー」)

活動のきっかけ

「障害者団体とのスポーツを通じた交流」は文化スポーツ部会の活動方針の一つであり、地区社協が毎年夏休みに小学生を対象に実施している「子どもふれあい教室」の合同教室において、障害者スポーツボッチャを行うことといたしました。

活動の成果

普段まちづくり協議会が触れ合う機会の少ない小学校の児童と活動することができました。また、様々な障害を持つ方や高齢者も参加し、またとない交流の機会となり、好評でした。今後も引き続きボッチャ大会を開催していく予定です。協議会ではボッチャの公式用具を購入しており、町内の様々なサロン会などでも活用していただくように、呼びかけを行っていきます。

事例No.2 : 知っちょる会 in 中学校

【アンケート回答】
地域のことをもっと
知ろうと思った！



活動のきっかけ

豊浦町には夢が丘中学校と豊洋中学校の2つの中学校がありますが、生徒たちが地域の歴史について学ぶ機会はほとんどありませんでした。進学・就職を機に地元を離れる中学生に豊浦町の魅力を知ってもらい、将来地元で暮らしたいと思ってもらうきっかけとしたいと考え、平成29年度より企画、実施しています。

活動内容

菊川民俗資料館資料収集保存委員会会長の北条秀一先生を講師としてお招きし、「長州鉄道から山陰線へ」という題で、旧下関駅（現：東駅）から小串までの長州鉄道が開通するまでの経緯、川棚温泉鉄道計画、当時の豊浦町の様子などを、豊富な写真・資料をパワーポイントで紹介しながら、お話していただきました。

事例No.3 : 医療福祉講演会「知っておきたいエンディングノート」



【アンケート回答】

よくわかった、だいたいわかった 88%
「とても参考になった」「来年も実施してほしい」といった声が多数寄せられた。

活動のきっかけ

豊浦町でも高齢化が進んでおり、相続や望ましい終末の在り方に対する関心が高まっています。

昨年、相続についての講演をしていただき、大変好評であった行政書士に依頼し、今年度は「エンディングノート」に関する講演を開催することにいたしました。

活動内容

講演会は1月26日（土）に川棚公民館において開催
参加者約70名
エンディングノートに記す基本的な内容や、書く上での注意事項、作成することの利点などについて講演

豊北地区まちづくり協議会

ホームページ <https://houhokumatizukuri.wixsite.com/mysite-2>

メールアドレス hauhokumatizukuri@chic.ocn.ne.jp

【協議会 概要】

●設立年月日 平成27年12月8日

事務所 〒759-5331 下関市豊北町大字神田1199番地1
豊北生涯学習センター内

☎ / 画像 : 083-786-0010

地域の状況 (人口) 8,948人 (世帯数) 4,428世帯 (H30.10.1現在)
(中学校区) 豊北中学校 (面積) 168.64k㎡

設置部会 企画部会、活性化部会、安全安心部会、教育子育て部会

活動の概要 ・広報紙の発行 ・ホームページの更新管理 ・まちづくり計画策定
・シニア交通教室 ・防災講演会 ・観光ガイド事業実態調査
・婚活イベント ・消えゆく校歌の保存公開 ほか

事例 : デート in 角島



活動のきっかけ

豊北地区は人口激減と少子高齢化が進んでおり、定住人口増加とまちの活性化につなげるべく婚活イベントを開催することといたしました。

対象は20才から45才までの独身者で、町内だけの募集は困難と考え、男性は市内在住かつ在勤者、女性は居住地及び勤務先は問わないこととしました。

活動の内容

募集チラシを作成し、市内各所に配布、またホームページにも掲載

山口新聞などに参加者募集記事を投稿

山口結婚応援団に登録を申し込み、登録証をいただいた

当日は、晴天のもと、地元スタッフ男女14名の協力を得て開催

海浜清掃の後、昼食は海の見える丘でバーベキュー

午後は、ゲームに続いて、司会者によるお見合いタイム、フリータイム、最後に告白タイム



4組のカップルが誕生！！

今後の課題・展開

下関市（企画課）をはじめ、近隣市町で実施されていることに加え、募集開始時期が遅かったため、募集予定人員の確保が難しかった。

一定の周知期間が必要。

出来れば、第2回「デートin角島」を実施し、一組でも多くのカップル誕生に向けて努力したいが、そのためには募集要件や実施場所・期日を早く決め、募集活動を7月頃には開始する必要がある。

男性の募集要件は「市内在住者」又は「在勤者」と幅を広げる。

まちづくり
のイベント

10年後のまちづくりのためには、まちづくり協議会の活動が必要不可欠!!

活動継続のため、啓発活動のほか、行動する人材の確保などに取組んでいきます。

《平成 30 年度 下関市まちづくり協議会活動事例集》

令和元年 7 月発行

下関市市民部まちづくり政策課

〒750-8521 下関市南部町 1 番 1 号

TEL.083-231-1261 FAX.083-231-1809

E-mail: skshimin@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

...地域サポート室...

〒750-0009 下関市上田中町 1 丁目 16 番 3 号

TEL.083-231-1385 FAX.083-231-1383

E-mail: chiikisuport@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

下関市のホームページ

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp>